

カーボンニュートラル実現に向けた 三井不動産グループの街づくりについて

三井不動産株式会社 代表取締役社長

植田 俊



▶ 「街づくり」を通じた社会課題の解決

1968

都市問題を解決する
ビルの高層化



霞が関ビルディング



「眺望を売る」という
新たな環境創造



「三田綱町パークマンション」



ショッピングやレジャー
を楽しむ空間を



「三井ショッピングパーク
ららぽーとTOKYO-BAY」



官・民・地元一体で
賑わいを取り戻す



日本橋再生計画



▶ ウェルビーイングを高め「街」と共生する緑の空間づくり

5,000haの保有林における、
「終わらない森」創り



北海道の保有森



三井不動産によるオリンピックとの植林活動 ※

※三井不動産株式会社はTEAM JAPANゴールド街づくりパートナーです。

神宮外苑地区まちづくりにおける、
みどりの保全と創造



※提供：秩父宮ラグビー場株式会社 計画段階のため変更の可能性がございます。



▶ 三井不動産グループの役割 = 街づくりにおける「プラットフォーム」



▶ 脱炭素社会実現に向けたグループ行動計画

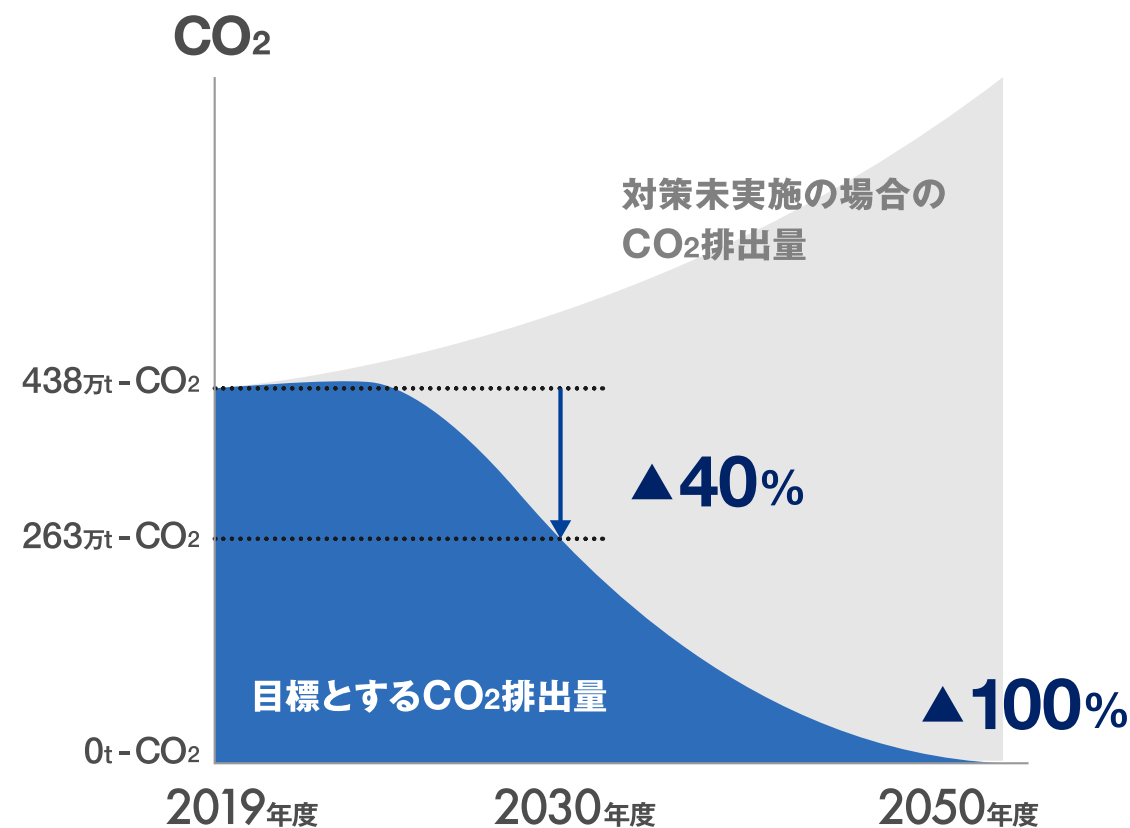
グループ全体の温室効果ガス（GHG）排出量を

2030年度までに 40%削減

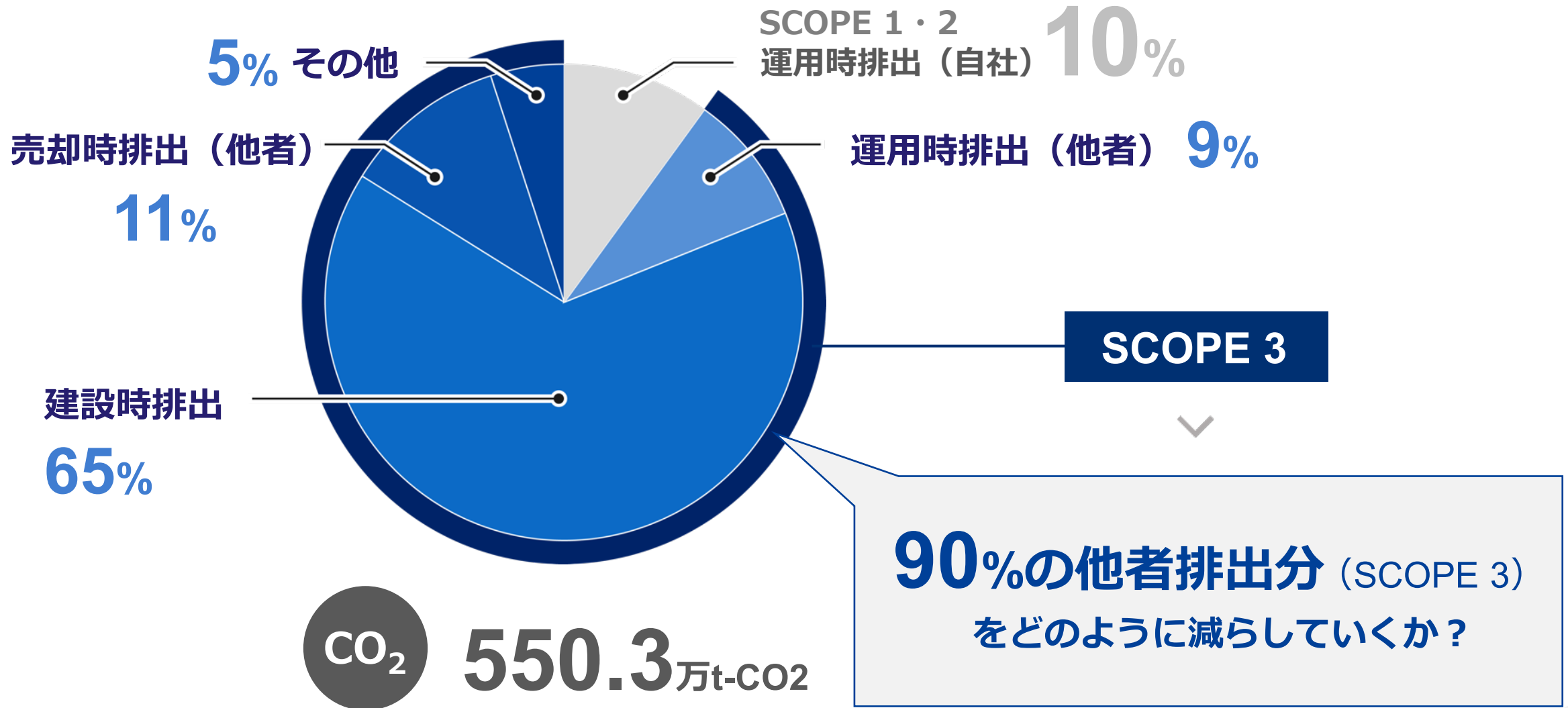
（2019年度比）



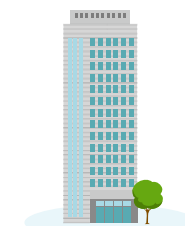
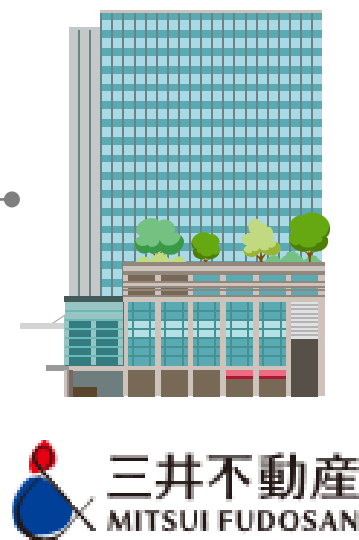
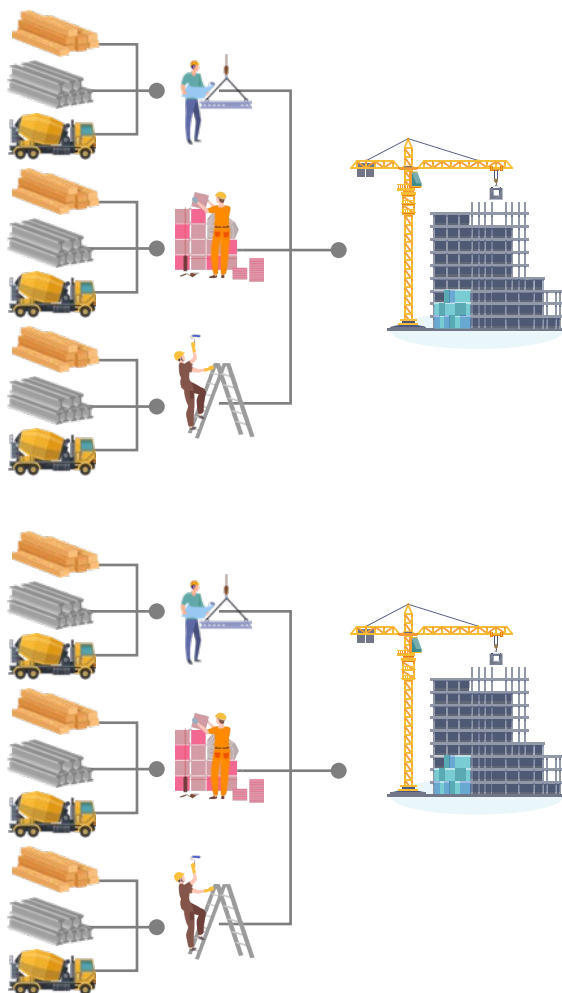
2050年度までに ネットゼロ



▶ SBTに基づく当社グループの温室効果ガス排出量 (2022年度)



建物に必要となる部材は **数万** から
数十万点以上



オフィステナント数
約 **3,000** 社



商業テナント数
約 **2,500** 社



三井ショッピングパーク
ポイント会員数
約 **1350万** 人



三井ガーデンホテル会員数
80万 人強



三井不動産レジデンシャル
分譲戸数
240,000 戸

街づくりの「プラットフォーム」としての役割を果たすため
サプライチェーン全体を巻き込む排出削減や**新たな排出削減手法**に挑戦・提案



「街づくり」に関わるあらゆる人々の意識へ働きかけ
行動変容へとつなげていく



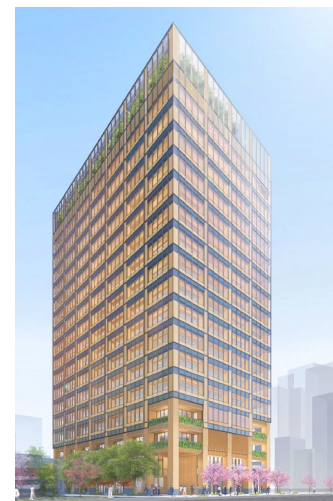
「街づくり」の上流・下流 あらゆるフェーズで
それぞれの脱炭素化に関与し、貢献する

1 街づくりのサプライチェーンに関わる
無数の企業に働きかけ、GHG排出を見える化



- ▶ 脱炭素化に向けた適切な指標づくり
- ▶ GHG排出の見える化ルール形成・普及

2 脱炭素時代の旗印となるような
「新しい建築物のあり方」を提案



提供：三井不動産、竹中工務店
※当パースは現時点のイメージであり、
今後変更の可能性があります。

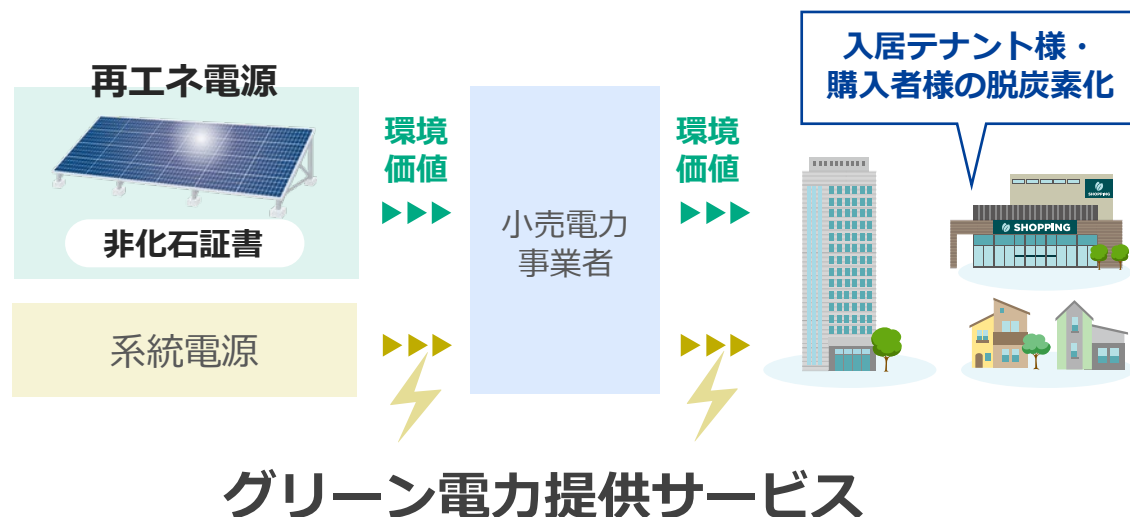
- ▶ 木材を活用したビルで炭素固定化を促進
脱炭素時代のイノベーティブな建物づくり

「街づくり」の上流・下流 あらゆるフェーズで
それぞれの脱炭素化に関与し、貢献する

3 入居テナントや生活者の意識への働きかけと行動変容を促す

入居テナント・マンション居住者向けサービス

- ▶ お客様の脱炭素化に貢献するグリーン電力の提供



生活者向けサービス

- ▶ 脱炭素化に向けた「新しい暮らし」の提案と促進



さらに、プラットフォームとして 脱炭素イノベーションの創出を支援



- ▶ オープンイノベーションや産学連携を促進する街づくりで脱炭素化を加速

プラットフォームとして街づくりに関わるあらゆる産業や人を巻き込み

不動産業界および日本の産業全体のカーボンニュートラルへ

ベンチャー企業や
大学などとの協働による
イノベーション創出

世界からの
ESG投資の呼び込み

川上との連携
・
働きかけ

川下への提案
・
働きかけ

取り組みが様々な産業へ広がる

取り組みが業界全体へ広がる

